【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和7年4月2日(2025.4.2)

【公開番号】特開2024-21481(P2024-21481A)
【公開日】令和6年2月16日(2024.2.16)
【年通号数】公開公報(特許)2024-030
【出願番号】特願2022-124328(P2022-124328)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｋ　1/02(2006.01)
Ｈ０５Ｋ　3/46(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｋ　1/02　　Ｇ
Ｈ０５Ｋ　3/46　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月25日(2025.3.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
配線層と、絶縁層とからなる配線構造体と、
前記配線構造体の表面を被覆するとともに、前記配線構造体の表面の所定領域を露出させるスリットを備える最外絶縁層と
を有し、
前記スリットの縁部に対応する前記最外絶縁層の縁部が波状に蛇行する
ことを特徴とする配線基板集合体。
【請求項２】
前記最外絶縁層の縁部は、
互いに連結される複数の円弧からなる波、三角波、方形波及び台形波から選択される少なくとも一つの波を含む波状に蛇行する
ことを特徴とする請求項１に記載の配線基板集合体。
【請求項３】
前記最外絶縁層の縁部を構成する複数の凸部分は、
前記所定領域の周縁と接する位置に頂部を有する
ことを特徴とする請求項１に記載の配線基板集合体。
【請求項４】
前記最外絶縁層の縁部を構成する複数の凸部分の少なくとも一つは、
前記複数の凸部分の少なくとも他の一つとはサイズが異なる
ことを特徴とする請求項１に記載の配線基板集合体。
【請求項５】
前記最外絶縁層は、互いに交差する複数の前記スリットを備え、
前記最外絶縁層の縁部を構成する複数の凸部分の少なくとも一つは、
互いに交差する複数の前記スリットによって形成される角部に対向して位置する
ことを特徴とする請求項１に記載の配線基板集合体。
【請求項６】
前記配線構造体の表面に位置する前記絶縁層は、

前記最外絶縁層の縁部を構成する複数の凸部分の間から露出している
ことを特徴とする請求項１に記載の配線基板集合体。
【請求項７】
配線層と、絶縁層とからなる配線構造体と、
前記配線構造体の表面を被覆する最外絶縁層と
を有し、
前記最外絶縁層は、
前記配線構造体の表面の周縁に沿って形成され、波状に蛇行する側面を有することを特徴とする配線基板。
【請求項８】
前記配線構造体の表面に位置する前記絶縁層は、
前記最外絶縁層の側面を構成する複数の凸部分の間から露出している
ことを特徴とする請求項７に記載の配線基板。
【請求項９】
配線層と、絶縁層とからなる配線構造体を形成し、
前記配線構造体の表面を被覆するとともに、前記配線構造体の表面の所定領域を露出させるスリットを備える最外絶縁層を形成し、
前記スリットから露出する前記所定領域において前記配線構造体を切断して個片化する工程を有し、
前記最外絶縁層を形成する工程は、
前記スリットの縁部に対応する前記最外絶縁層の縁部を波状に蛇行させる
ことを特徴とする配線基板の製造方法。